

# 令和5年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2024.1.25(木)

事業コード	23-G-10	学校名	恵那市立恵那北・飯地小学校		住所	恵那市長島町久須見177-1
実施日	12月5日(火)9:50~11:50			受講児童生徒数	27名(5年生17名/6年生10名)	
開講職種数	2職種	指導者数	3名	参観保護者数	10名	

## 学校アンケートの結果

1 体験授業全体を通して、満足していただける内容となりましたか

→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった

4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください

→

- ・体験そのものにも魅力があり、自身が製作したものを持ち帰ることができるということも魅力です。
- ・ものづくりの楽しさを日々の授業でも味合わせていきたいと思えます。
- ・今回のような技能者の方との直接的なふれあいや体験を継続していくことが大切だと思います。(以上、恵那北小学校)

・飯地には企業はほとんどなく、多くの方が市内中心部へ出て働くか、農業等で個人経営をしてみえます。今後、飯地に住み続けることを考えると、技能を身につけて技能者として生計を立てていくことは一つの方法です。飯地の子たちには、技能者を含め、多くの体験をして、心豊かになったり、夢について考えたりすることが、将来を考える材料になると考えています。(以上、飯地小学校)

## 会場担当教員アンケートの結果(2会場の先生)

1 この体験授業にて児童生徒にもものづくりの魅力や意義が伝わったと思えますか

①大変よく伝わった →       ②ある程度伝わった →

③あまり伝わらなかった →       ④全く伝わらなかった →

2 児童生徒の皆さんが技能者を目指すに当たっての課題と思われることを自由にお書きください

→ 学校アンケート 質問4 の回答に同じ

## 指導者アンケートの結果(2職種の各代表)

1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思えますか

→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった

②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった

③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった

④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がもしありましたら、お聞かせください

・ミシン縫いの作業では、お手伝い頂き、短時間で済ませることができ、大変助かりました。

・会場が広く、効率よく作業が進められました。会場は広い方がいいです。

・若い人の後継者不足は大半の職種も同じで、技能の継承は危機的状況です。そんな中、岐阜県独自の事業としてこの体験授業が実現したことは、全国に誇れる素晴らしいことだと思います。子ども達にもものづくりの魅力を直接伝える機会ができ、教える側にとっても刺激になっています。先の長い取り組みですが、後継者の掘り起こしにつながるこの事業については、今後も引き続き継続を願います。(寝具製作職種)

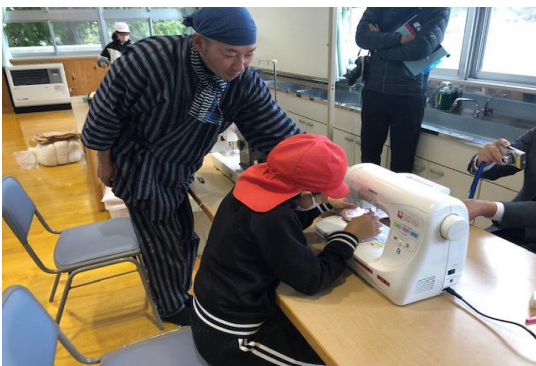
・小学生のうちから様々な職業に触れる事はとても良い事だと思います。私自身、畳職人になったのは幼い頃から父の仕事に触れてきた事が大きいと思います。勉強や部活が忙しくなる前の小学生のうち沢山の技能者の仕事(可能性)に触れさせてあげたいです。そしてその楽しさを伝えてあげたいです。それが将来の人材育成に繋がると思います。(畳製作職種)

## 会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれぐらい満足されましたか

		寝具製作	畳製作	合計(左:人 右:%)	
指導者数		1	2	3	
受講児童生徒数		13	14	27	
回答	とても満足した	13	12	25	92.6
	ある程度満足した	0	2	2	7.4
	あまり満足できなかった	0	0	0	0.0
	満足できなかった	0	0	0	0.0
	合計	13	14	27	100

## 寝具製作会場の様子



### 先生の感想

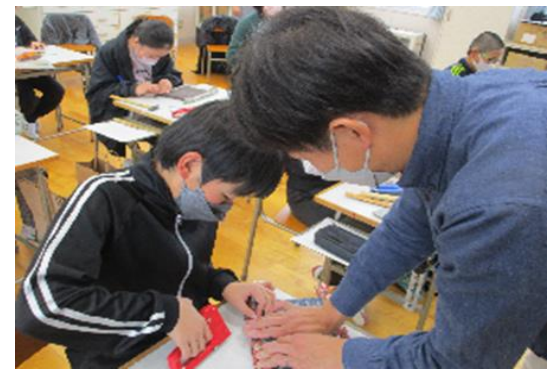
- ・製作工程が多かったが、細かく区切りながら教えていただけたので、児童はよく理解して作業に取りかかっていた。
- ・難しい工程の時にはどの児童にも目を配り、サポートをしてくださったので、全員が座布団を完成させることができた。
- ・職業講話の中では、これからの生き方に影響を与えるようなお話もしていただいた。
- ・最後に、講話を聞くときには、自分で作った座布団に座った。作ったものを使う、というところまでが今回の体験に組み込まれていたため、児童は達成感に満ち溢れた顔をしていた。
- ・最後に職人さんの功績などの詳しい紹介があったが、最初にそのような紹介をしていただけると児童はより興味をもって活動に参加できたと思う。

### 児童生徒の感想

- ・座布団作りをしてみて、一見簡単そうに見えるけど、綿の詰め方や折り方などが意外と難しかった。
- ・座布団を作るのは初めての体験だったので、良い経験になったし、とても楽しかった。
- ・もっと大きい布団を作ってみたりしたい。「諦めずに最後までやると将来に繋がる」という吉田先生の話聞き、私も勉強を諦めずにやりたいと思った。
- ・1つの布団を作るのに何種類もの綿を混ぜ合わせて布団を作っていることがわかった。綿は日に当てると膨らみ、ふかふかになるという話が印象に残った。



## 畳製作会場の様子



### 先生の感想

- ・日常生活の中にある職業(教職員、スーパーマーケットの店員)については、関わりの中から予想をしたり、イメージできたりすることがいくつかあるが、畳を作製する方法については、日常生活の中にはないので、よい体験になった。5年生の中には、社会科の地理で学んだ知識を生かしながら、「なぜ、熊本でい草がたくさん採れるのであろうか」ということを考え、質問する子もいた。また、6年生は修学旅行で見学した二条城の中に畳が多かったことと絡めて、畳を作る苦労や当時は一部の人しか使えない高級品だったのではないかなどという話をしている子もいた。教科書や資料集で見るだけでは味わうことのできない感覚を実際に体験することにより、これまでの学習により深みが出て、さらなる学習意欲に繋がることを期待している。
- ・大きな可能性を秘めている子どもたちにさまざまな経験をさせることで、将来の選択肢の幅が広がるきっかけになる。
- ・保護者が子どもたちの成長を感じる場、授業参観としての活用ができ、同じ体験をすることで家庭内での会話のきっかけにもなる。
- ・時期や体験内容をうまく組み合わせることで、横断的な学習が可能になり、学びが深まる。

### 児童生徒の感想

- ・畳の製作という普段出来ないことができて良かった。今回のミニ畳づくりでは木の板に畳表を貼ったが、機会があれば、い草でもやってみたいと思った。
- ・初めて見たり、使ったりする道具があったが、上手く使うことができたのでよかった。へりを折りたたむ角の所がとても難しかった。
- ・畳を作るとき、周りの縁の部分はただ留めるだけだと思っていたが、紙に挟んで留めることを初めて知った。
- ・畳作りは難しいこともあったが、とても楽しくできたし、畳がどのようにして作られているのかも知れてよかった。